



高速道路利用時の交通安全

高速道路は、一般道に比べて車両の速度が出ているため、ひとたび事故が起こると、重大な事故につながります。高速道路での注意点を理解し、交通事故防止に努めましょう。

高速道路における緊急時の三原則

路上に立たない

事故等で、車から出て路上で電話などしていると、後続車にはねられる事故が発生しています。



車内に残らない

車内は安全ではありません。後続車に衝突され、命を落とすケースもあります。



安全な場所に避難する

後続車に注意しながら、ガードレールの外側など安全な場所に避難してください。



高速道路を安全に利用するために

- ・ 事前に車両の点検をする（オイル、タイヤ、冷却水等）
- ・ 燃料を確認し、早めに補充しておく
- ・ 積荷を点検し、落下物を防ぐ
- ・ 交通ルールを守る（速度超過、車間距離不保持等）
- ・ 電光掲示板等で情報（故障車、事故、落下物等）を収集し、危険を早く察知する



三角停止表示板や発炎筒の保管場所、有効期限を確認しておきましょう。

事故等で停車する際は、後続車に注意しながら**三角停止表示板や発炎筒を車両後方に設置**し、後続車に対する注意喚起、事故防止措置を行いましょう。

